

下町訪ね歩き

向島百花園(墨田区東向島)を歩きました。今からおよそ 200 年前、江戸の商人佐原鞠塙(かくう)が友人たちとともに造った民間の庭園でした。既に有名だった亀戸の梅屋敷に対して『新梅屋敷』と呼ばれていたそうで、当時は360本の梅がありました。現在は約60本、21種類の梅が咲き競います。

「梅は百花に先がけて咲く」ところから名付けられたというこの庭園、現在は東京都公園協会によって管理運営されています。

園内は昔懐かしい土に薄く敷かれた小砂利の歩道が整備され

ており、車いすの車輪をとられるということはずないと思いますが、自走より介助の方がつくより快適にお散歩できると思います。池の周りの何方所で車いすの通れないところがありますが、入口近くに掲示されています。



唐梅(とうばい)

や箸置きなど記念品の販売の他、お抹茶などもいただけます。季節によってさまざまな花木・草花と江戸の粋が楽しめます。

通院などのついでにお立ち寄り難しいかも知れませんが、どこか懐かしいひとときをお過ごしいただければと思います。有料(150円、65歳以上は70円)



白加賀とスカイツリー

売店では、名菓や都鳥の土鈴



見驚(けんきょう)